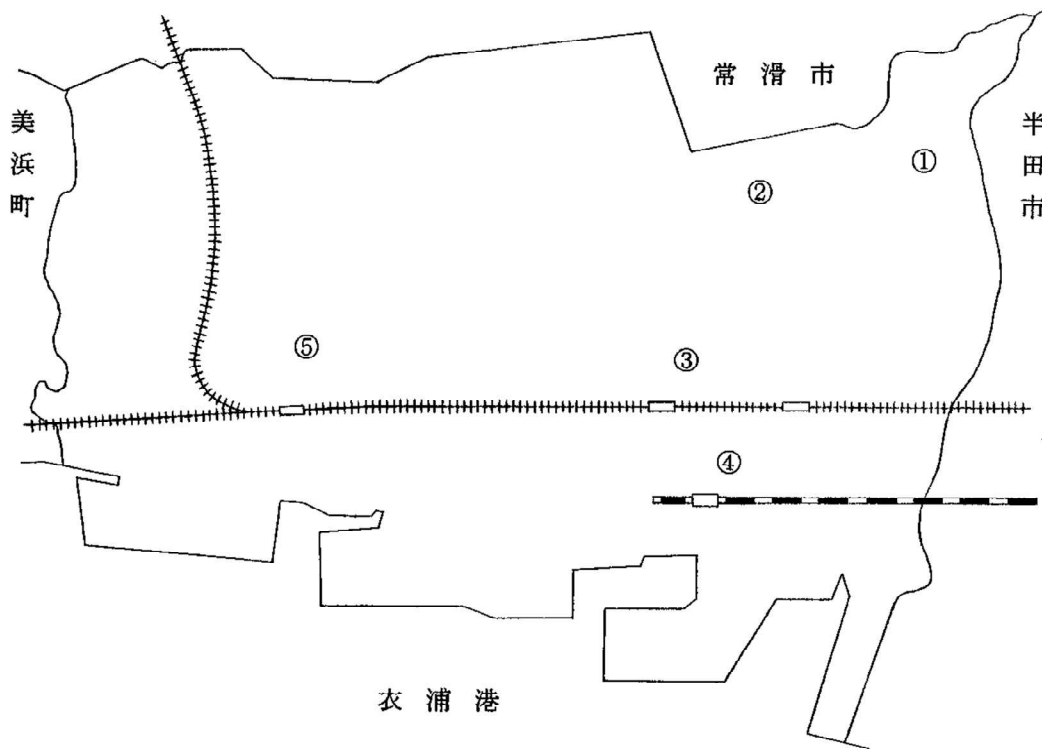


1 大気汚染

二酸化硫黄、窒素酸化物、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質などの大気汚染物質の主な発生源は、かつては、工場・事業場のボイラー、加熱炉、廃棄物焼却炉などの大規模固定発生源が中心でしたが、大気汚染防止法などの規制により工場・事業場からの排出は汚染の主要因ではなくなってきました。（表1.1、表1.6、表1.11、表1.14）

武豊町における大気汚染測定は、図1.1のとおり実施しています。このうち、武豊町役場の気象・窒素酸化物・光化学オキシダント・浮遊粒子状物質の自動測定装置は、愛知県が設置しているものです。

図1.1 大気汚染測定地点



番号	測定地点	測定項目もしくは測定方法
1	北山配水池	気象・二酸化硫黄・窒素酸化物・光化学オキシダント 浮遊粒子状物質
2	緑丘小学校	降下ばいじん・二酸化鉛法
3	武豊町役場	気象・窒素酸化物・光化学オキシダント・浮遊粒子状物質
4	武豊小学校	降下ばいじん・二酸化鉛法
5	富貴小学校	気象・二酸化硫黄・窒素酸化物・光化学オキシダント 浮遊粒子状物質・降下ばいじん・二酸化鉛法

1.1 硫黄酸化物

硫黄酸化物濃度は、表1.2、表1.4、図1.2、図1.3に示すように環境基準（表1.1）を下回り、近年はほぼ横ばいで推移しています。平成20年度の二酸化硫黄濃度の年平均値は、北山配水池測定局（以下、北山配水池という。）および富貴小学校測定局（以下、富貴小学校という。）において、それぞれ0.001ppm、0.002ppmでした。

表1.1 二酸化硫黄の環境基準

1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

表1.2 二酸化硫黄経年変化

項目 地点 年度	有測定日効数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1の時間最高値	日2平%均除値外の値	環境基準の適否	
	(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(適・否×)	
北山配水池	16	361	8676	0.003	0	0	0	0	0.037	0.011	
	17	363	8642	0.002	0	0	0	0	0.059	0.006	
	18	363	8638	0.001	0	0	0	0	0.024	0.005	
	19	365	8663	0.001	0	0	0	0	0.211	0.004	
	20	364	8659	0.001	0	0	0	0	0.038	0.003	
富貴小学校	16	365	8733	0.005	0	0	0	0	0.038	0.011	
	17	363	8726	0.006	0	0	0	0	0.083	0.011	
	18	361	8660	0.004	0	0	0	0	0.039	0.009	
	19	364	8713	0.002	0	0	0	0	0.020	0.005	
	20	363	8693	0.002	0	0	0	0	0.041	0.004	

北山配水池と富貴小学校において二酸化硫黄濃度の平成16年度から平成20年度までの年平均値等を表しています。

表 1 . 3 二酸化硫黄測定結果

地点	年月 項目		平成 2 0 年									平成 2 1 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水地	有効測定日数	(日)	29	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	700	734	712	733	736	712	731	716	740	737	668	740
	月平均値	(ppm)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.011	0.014	0.038	0.012	0.017	0.024	0.016	0.009	0.012	0.009	0.009	0.009
	日平均値の最高値	(ppm)	0.003	0.004	0.006	0.003	0.004	0.004	0.005	0.003	0.002	0.003	0.003	0.002
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	29	31	28	31
	測定時間	(時間)	716	739	711	740	740	715	740	716	729	740	668	739
	月平均値	(ppm)	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値の最高値	(ppm)	0.018	0.017	0.041	0.019	0.025	0.020	0.013	0.034	0.022	0.016	0.011	0.018
	日平均値の最高値	(ppm)	0.004	0.007	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.002

北山配水池と富貴小学校の二酸化硫黄濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

表 1. 4 硫黄酸化物経年変化

地点	年度	16	17	18	19	20
	緑丘小学校		0.11	0.10	0.08	0.08
武豊小学校		0.11	0.11	0.10	0.09	0.10
富貴小学校		0.08	0.08	0.07	0.06	0.08

(単位: $\text{SO}_3\text{mg} / (\text{日} \cdot 100 \text{cm}^2 \text{PbO}_2)$)

緑丘小学校を始め3地点において、二酸化鉛法で得られた硫黄酸化物量を測定しています。
平成16年度から平成20年度までの年平均値を表しています。

表 1. 5 硫黄酸化物測定結果

地点	年度	緑丘小学校	武豊小学校	富貴小学校
	平成20年	4	0.09	0.09
5		0.07		0.05
6		0.09	0.10	0.07
7		0.12	0.12	0.09
8		0.11	0.13	0.07
9		0.09	0.06	0.08
10		0.11	0.07	0.12
11		0.11	0.11	0.08
12		0.10	0.13	0.13
平成21年	1	0.09	0.10	0.09
	2	0.09	0.11	0.08
	3	0.07	0.09	0.07

(単位: $\text{SO}_3\text{mg} / (\text{日} \cdot 100 \text{cm}^2 \text{PbO}_2)$)

緑丘小学校を始め3地点において、二酸化鉛法で得られた硫黄酸化物量の年間(4月から3月まで)の各月測定値を表しています。

图1.2 二酸化硫黄経年变化

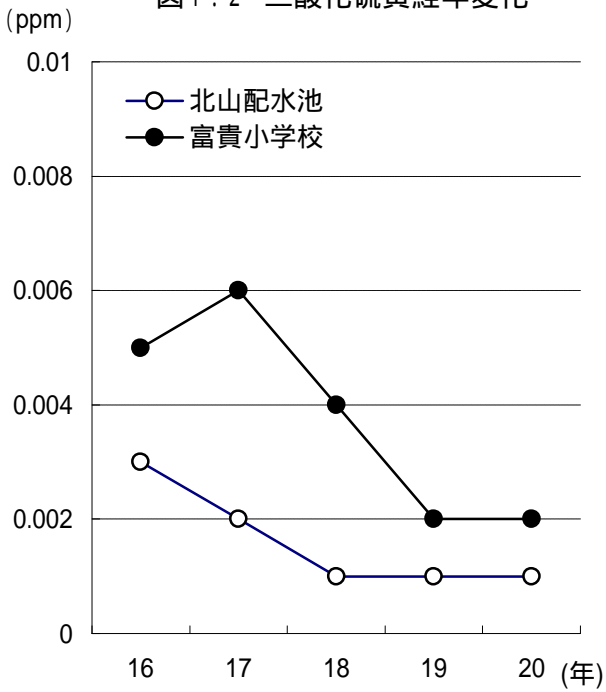


图1.3 硫黄酸化物経年变化

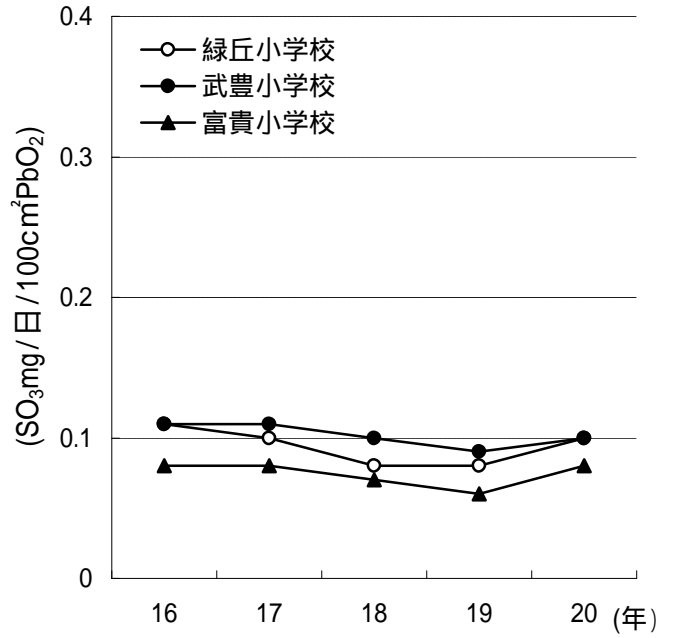


图1.4 二酸化硫黄経月变化

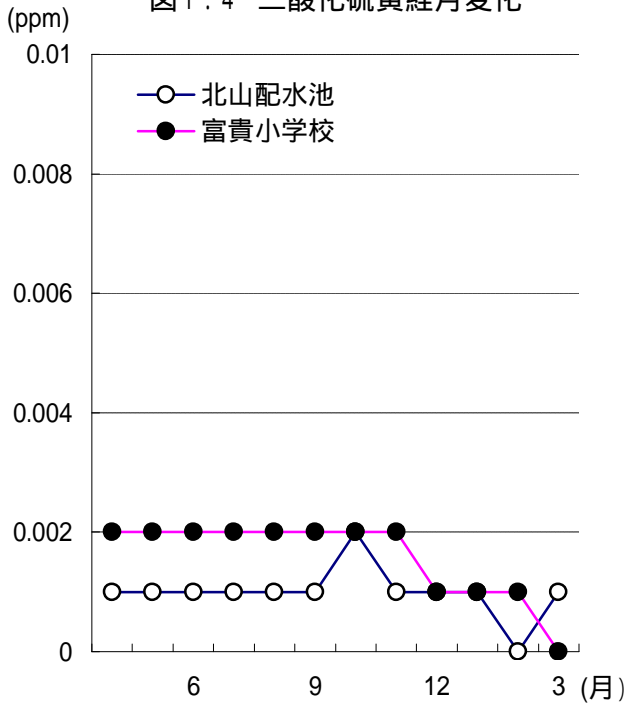


图1.5 硫黄酸化物経月变化

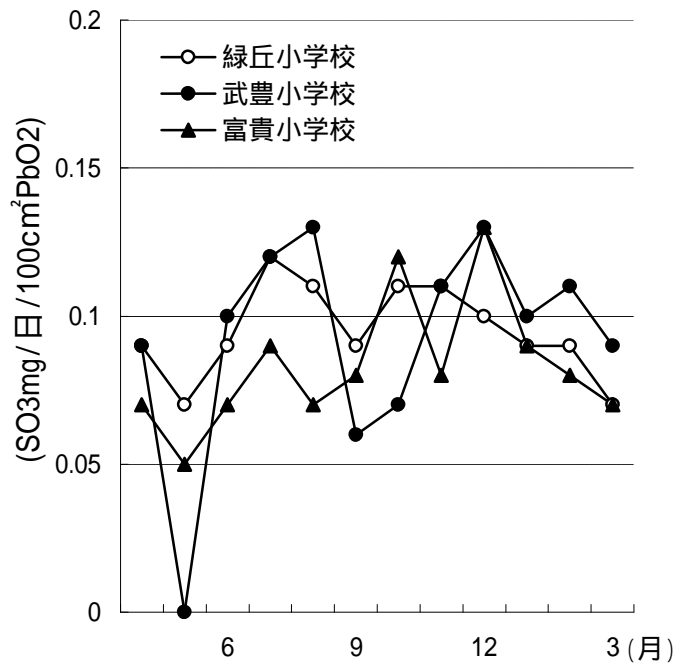


図1.6 曜日別二酸化硫黄濃度

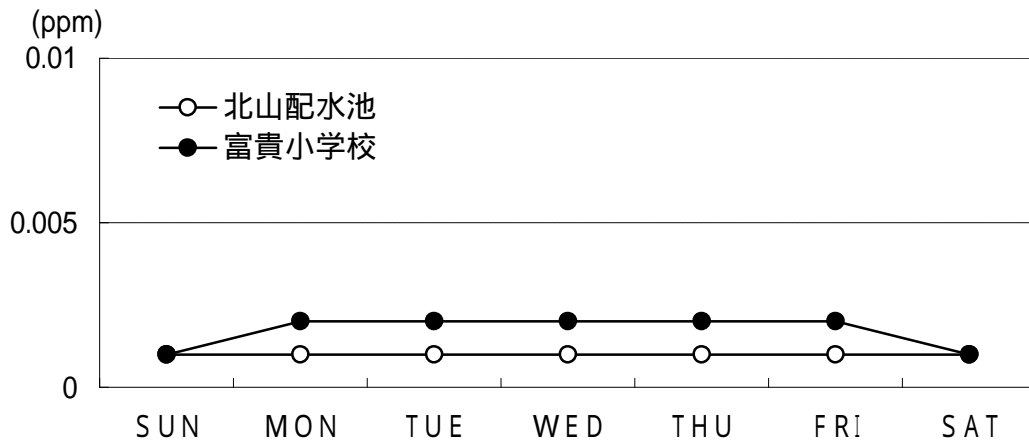


図1.7 時刻別二酸化硫黄濃度

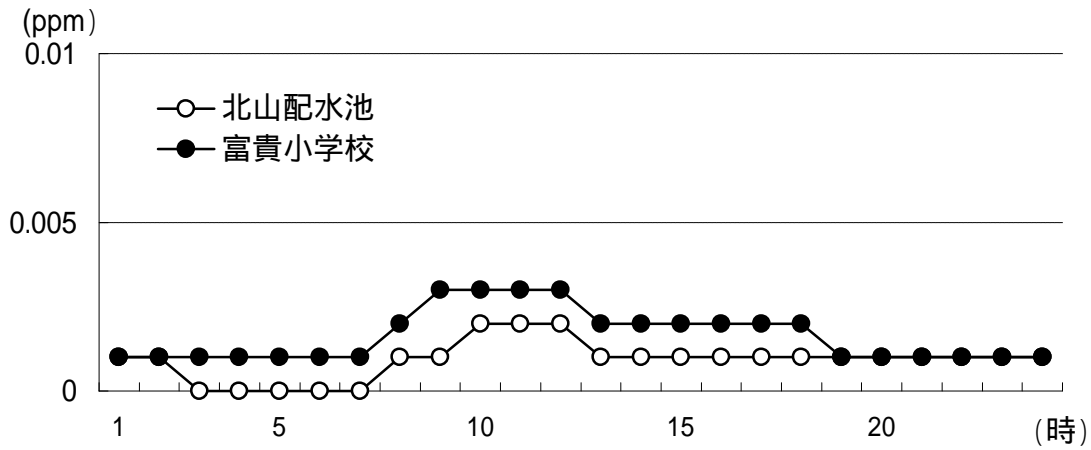
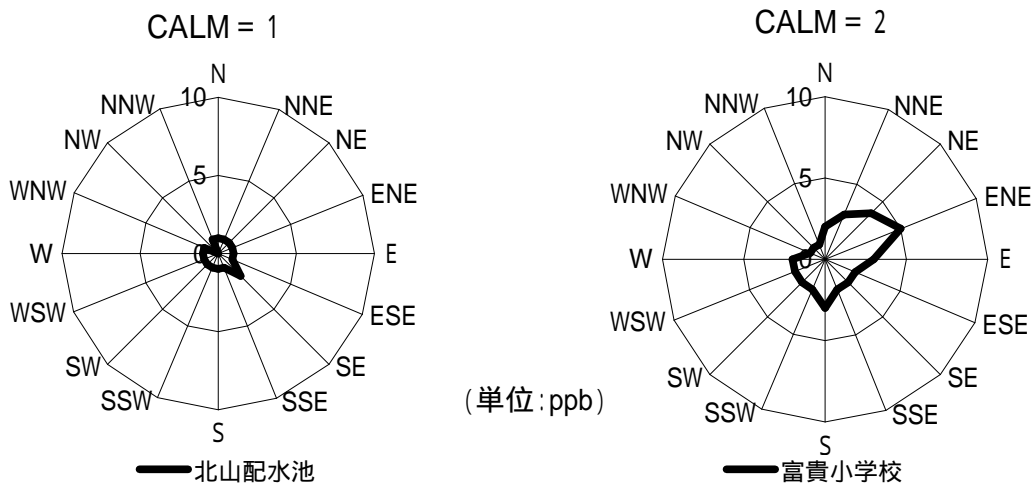


図1.8 風向別二酸化硫黄濃度



CALMとは、風速0.4m/s以下の微風(ほぼ無風状態)を表しています。

1.2 窒素酸化物

窒素酸化物は、二酸化窒素の環境基準(表1.6)が定められており、表1.7、図1.9および図1.10に示すように、いずれの測定局も二酸化窒素の環境基準(表1.6)を満たしており、その濃度は近年はほぼ横ばいで推移しています。二酸化窒素の平成20年度の年平均値は北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ0.014 ppm、0.009 ppmでした。

表1.6 二酸化窒素の環境基準

1時間値の日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

表1.7 窒素酸化物経年変化

項目 地点 年度	二酸化窒素										
	有測定日効数	測定時間	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		1の時間最高値	日年間98%の値	環境基準の否	
	(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(適・否×)	
北山配水池	16	361	8672	0.015	0	0	7	1.9	0.078	0.038	
	17	360	8616	0.015	0	0	8	2.2	0.068	0.040	
	18	360	8629	0.013	0	0	2	0.6	0.065	0.035	
	19	361	8649	0.014	0	0	1	0.3	0.065	0.035	
	20	362	8654	0.014	0	0	1	0.3	0.076	0.035	
富貴小学校	16	364	8727	0.015	0	0	4	1.1	0.096	0.037	
	17	364	8718	0.013	0	0	2	0.5	0.061	0.036	
	18	364	8723	0.015	0	0	2	0.5	0.074	0.037	
	19	365	8751	0.013	0	0	1	0.3	0.080	0.033	
	20	364	8727	0.009	0	0	0	0	0.051	0.027	

項目 地点 年度	一酸化窒素						窒素酸化物					
	有測定日効数	測定時間	年平均値	1の時間最高値	日年間98%の値	有測定日効数	測定時間	年平均値	1の時間最高値	日年間98%の値	NO ₂ ÷(NO+NO ₂)	
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(%)	
北山配水池	16	361	8672	0.005	0.156	0.036	361	8672	0.020	0.195	0.075	76.0
	17	360	8616	0.005	0.151	0.036	360	8616	0.020	0.195	0.077	74.6
	18	360	8629	0.004	0.112	0.024	360	8629	0.018	0.156	0.057	76.3
	19	361	8649	0.004	0.190	0.034	361	8649	0.018	0.225	0.069	78.6
	20	362	8654	0.004	0.098	0.026	362	8654	0.018	0.142	0.059	77.8
富貴小学校	16	364	8727	0.009	0.172	0.050	364	8727	0.024	0.215	0.091	62.7
	17	364	8718	0.008	0.193	0.048	364	8718	0.021	0.245	0.082	62.5
	18	364	8723	0.008	0.172	0.043	364	8723	0.023	0.219	0.083	66.2
	19	365	8751	0.007	0.129	0.041	365	8751	0.019	0.174	0.076	65.9
	20	364	8727	0.007	0.103	0.030	364	8727	0.016	0.137	0.057	58.7

北山配水池と富貴小学校の二酸化窒素・一酸化窒素・窒素酸化物濃度の平成16年度から平成20年度までの年平均値等を表しています。

表 1 . 8 一酸化窒素測定結果

地点	年月		平成 2 0 年									平成 2 1 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	項目													
北山配水地	有効測定日数	(日)	29	31	30	30	31	30	31	30	31	30	28	31
	測定時間	(時間)	701	734	712	730	736	712	733	715	740	733	668	740
	月平均値	(ppm)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.005	0.009	0.010	0.007	0.004	0.003
	1時間値の最高値	(ppm)	0.026	0.029	0.022	0.015	0.042	0.063	0.052	0.083	0.098	0.076	0.073	0.073
	日平均値の最高値	(ppm)	0.003	0.004	0.005	0.003	0.014	0.018	0.023	0.054	0.036	0.033	0.021	0.013
富貴小学校	有効測定日数	(日)	29	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	711	741	718	742	742	718	741	718	742	742	670	742
	月平均値	(ppm)	0.003	0.003	0.004	0.003	0.005	0.007	0.008	0.012	0.015	0.010	0.006	0.004
	1時間値の最高値	(ppm)	0.050	0.044	0.069	0.027	0.050	0.055	0.055	0.103	0.103	0.087	0.097	0.052
	日平均値の最高値	(ppm)	0.010	0.008	0.013	0.006	0.017	0.022	0.027	0.057	0.043	0.043	0.028	0.014

北山配水池と富貴小学校の一酸化窒素濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

表 1 . 9 二酸化窒素測定結果

地点	年月		平成 2 0 年									平成 2 1 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
項目														
北山配水地	有効測定日数	(日)	29	31	30	30	31	30	31	30	31	30	28	31
	測定時間	(時間)	701	734	712	730	736	712	733	715	740	733	668	740
	月平均値	(ppm)	0.011	0.012	0.011	0.009	0.010	0.014	0.017	0.017	0.019	0.016	0.014	0.013
	1時間値の最高値	(ppm)	0.046	0.068	0.036	0.037	0.035	0.051	0.052	0.051	0.076	0.060	0.057	0.049
	日平均値の最高値	(ppm)	0.018	0.027	0.019	0.017	0.018	0.039	0.038	0.036	0.041	0.038	0.035	0.033
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
富貴小学校	有効測定日数	(日)	29	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	711	741	718	742	742	718	741	718	742	742	670	742
	月平均値	(ppm)	0.009	0.008	0.008	0.006	0.006	0.009	0.012	0.013	0.014	0.012	0.010	0.008
	1時間値の最高値	(ppm)	0.040	0.046	0.032	0.024	0.024	0.039	0.038	0.038	0.051	0.042	0.036	0.036
	日平均値の最高値	(ppm)	0.019	0.017	0.015	0.011	0.014	0.025	0.028	0.029	0.030	0.030	0.026	0.022
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

北山配水池と富貴小学校の二酸化窒素濃度の年間（4月から3月まで）の月平均値等を表しています。

表 1. 10 窒素酸化物 (NO + NO₂) 測定結果

地点	年月 項目		平成 20 年									平成 21 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水地	有効測定日数	(日)	29	31	30	30	31	30	31	30	31	30	28	31
	測定時間	(時間)	701	734	712	730	736	712	733	715	740	733	668	740
	月平均値	(ppm)	0.012	0.012	0.012	0.011	0.012	0.017	0.022	0.027	0.029	0.023	0.018	0.015
	1時間値の最高値	(ppm)	0.061	0.097	0.049	0.045	0.060	0.110	0.094	0.117	0.142	0.121	0.119	0.114
	日平均値の最高値	(ppm)	0.020	0.030	0.022	0.020	0.032	0.050	0.060	0.090	0.075	0.072	0.056	0.046
	月平均値 NO ₂ / (NO + NO ₂)	(%)	93.0	93.0	90.8	89.3	81.1	82.8	77.6	65.2	64.9	70.1	80.3	83.3
富貴小学校	有効測定日数	(日)	29	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	711	741	718	742	742	718	741	718	742	742	670	742
	月平均値	(ppm)	0.012	0.011	0.012	0.009	0.010	0.016	0.020	0.025	0.028	0.022	0.016	0.012
	1時間値の最高値	(ppm)	0.085	0.075	0.090	0.049	0.063	0.084	0.086	0.131	0.137	0.122	0.128	0.088
	日平均値の最高値	(ppm)	0.029	0.024	0.024	0.016	0.031	0.046	0.055	0.086	0.071	0.072	0.054	0.035
	月平均値 NO ₂ / (NO + NO ₂)	(%)	74.5	72.0	65.7	63.9	55.5	57.0	61.2	50.8	48.5	54.5	62.9	63.5

北山配水池と富貴小学校の窒素酸化物濃度の年間(4月から3月まで)の月平均値等を表しています。

图1.9 一酸化窒素経年变化

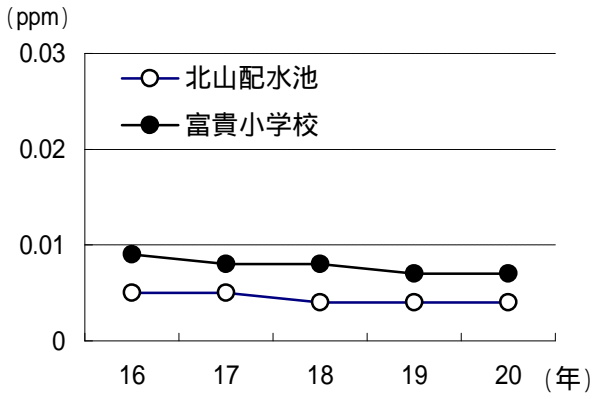


图1.10 二酸化窒素経年变化

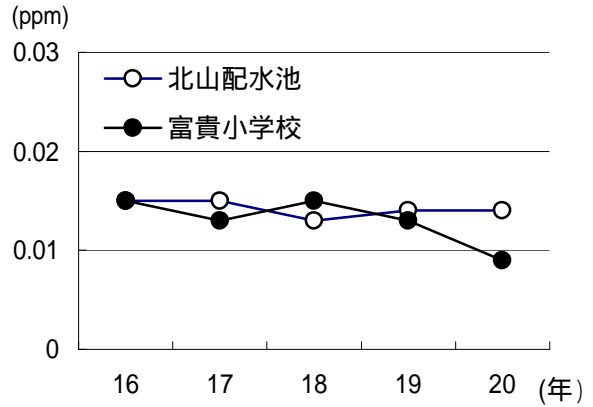


图1.11 一酸化窒素経月变化

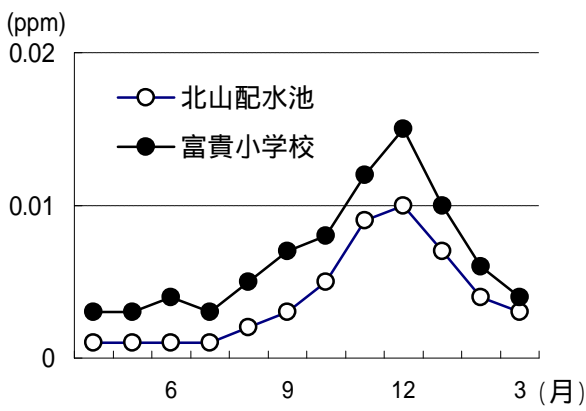


图1.12 二酸化窒素経月变化

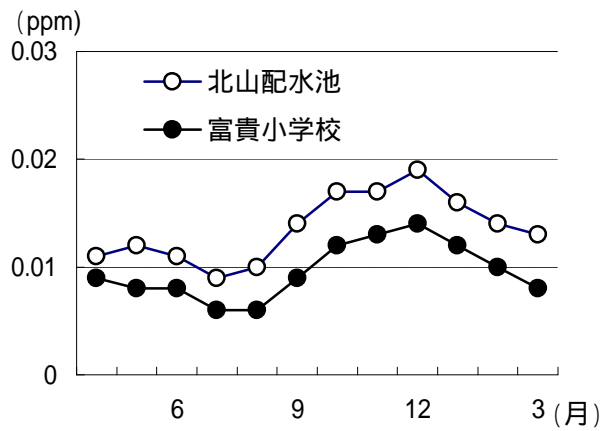


图1.13 風向別窒素酸化物濃度

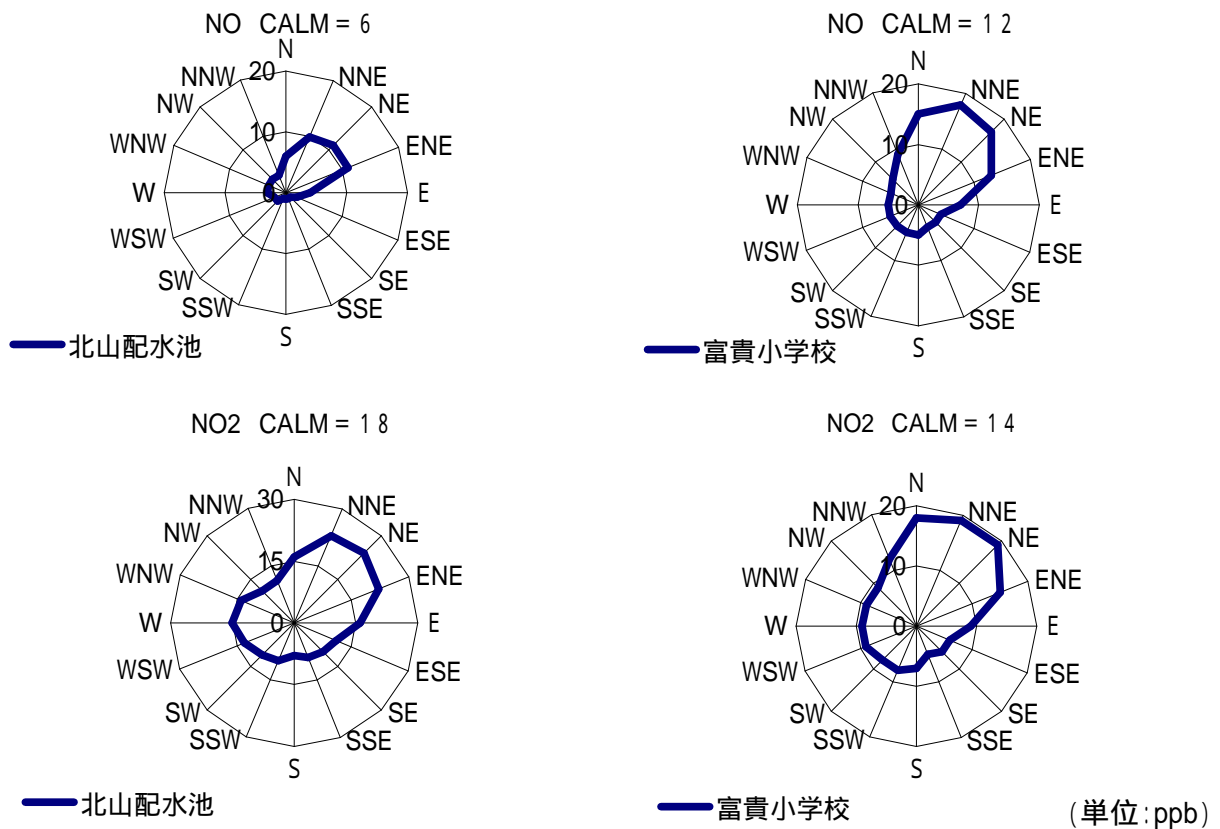


图1.14 曜日別一酸化窒素濃度

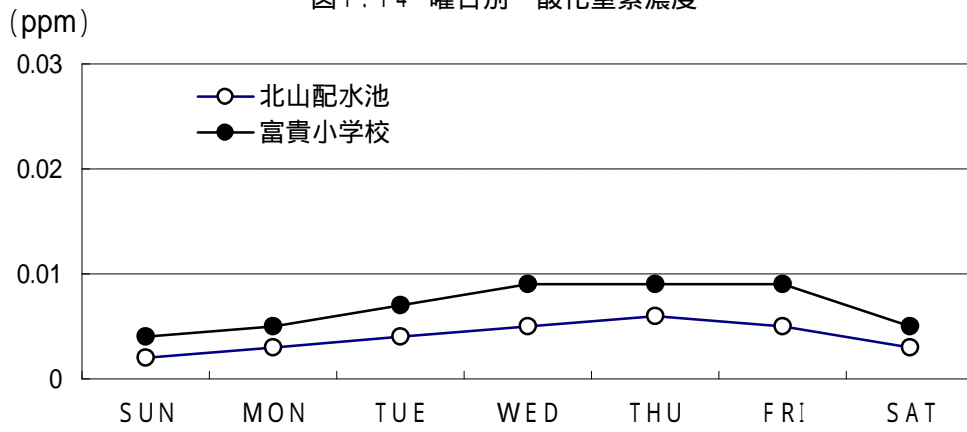


图1.15 曜日別二酸化窒素濃度

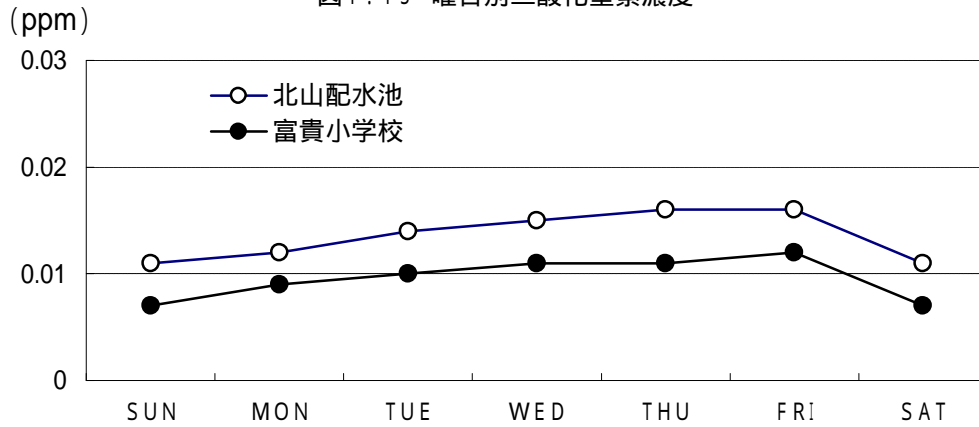


图1.16 時刻別一酸化窒素濃度

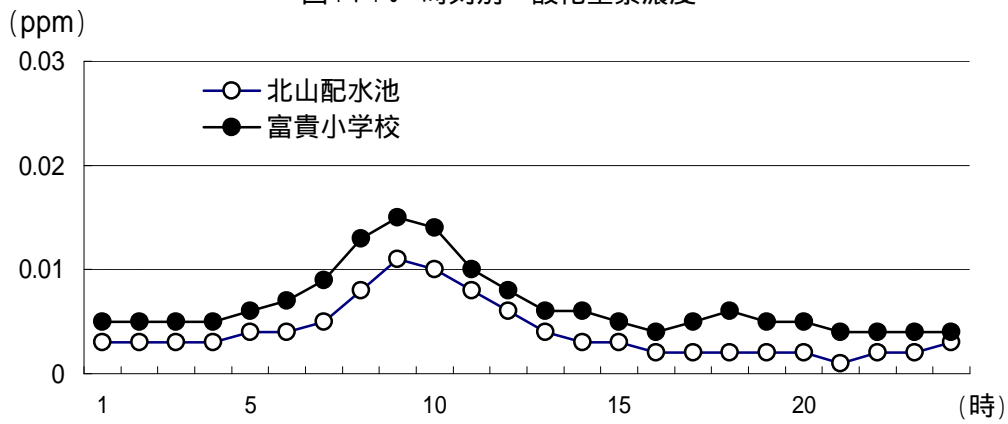
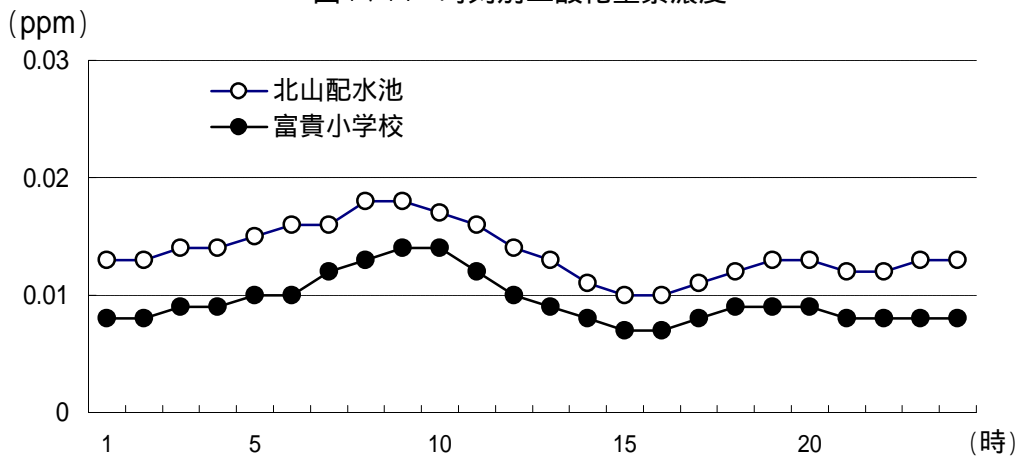


图1.17 時刻別二酸化窒素濃度



1.3 光化学オキシダント

光化学オキシダントの昼間（5時から20時の間）濃度は、表1.12および図1.18に示すように、ほぼ横ばいで推移しています。平成20年度の昼間年平均値は、北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ0.034 ppm、0.029 ppmでした。また、最高値はそれぞれ、0.212 ppm、0.134 ppmであり、2測定局とも未だに環境基準（表1.11）を満たしていません。

また、武豊町の属する衣浦地域では、平成20年度において、8月に2回、9月に1回、光化学スモッグ予報が発令されましたが、町民への被害については確認されておりません。

表1.11 光化学オキシダントの環境基準

1時間値が0.06 ppm以下であること。

表1.12 オキシダント（昼間）経年変化

項目 地点 年度	昼測定日 間数	昼測定時 間	昼年平 均 間値	昼間の1時間値 が0.06ppm を超えた時間数 及び日数		昼間の1時間値 が0.12ppm 以上の時間数 及び日数		1の時 間の最 高 値	日値の 最高年 1平均 の 時間値	環境基 準の 否	
	(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(日)	(時間)	(日)	(ppm)	(ppm)	(適・否×)	
北山配水池	16	365	5466	0.037	791	129	13	6	0.161	0.055	×
	17	365	5464	0.037	731	131	8	3	0.142	0.056	×
	18	365	5463	0.035	573	117	8	6	0.136	0.053	×
	19	366	5456	0.037	716	129	6	4	0.142	0.055	×
	20	365	5465	0.034	600	97	5	1	0.212	0.050	×
富貴小学校	16	365	5405	0.031	385	83	0	0	0.118	0.046	×
	17	365	5360	0.036	709	120	1	1	0.120	0.053	×
	18	358	5228	0.032	414	89	0	0	0.114	0.049	×
	19	366	5420	0.031	422	80	0	0	0.108	0.046	×
	20	365	5456	0.029	402	76	19	3	0.134	0.042	×

北山配水池と富貴小学校の光化学オキシダント濃度の平成16年度から平成20年度までの昼間年平均値等を表しています。

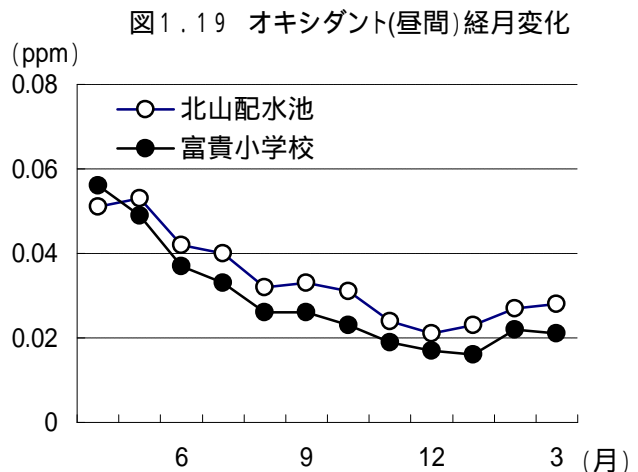
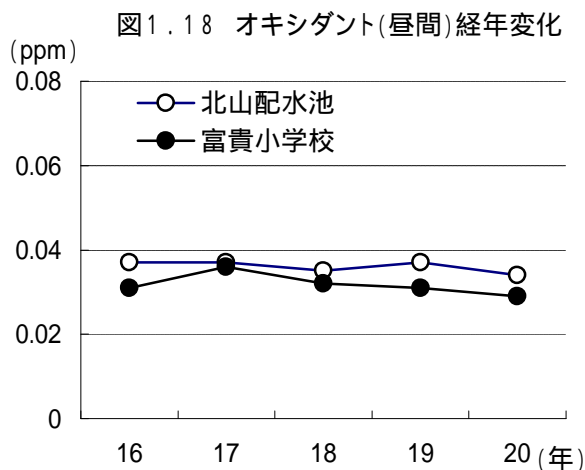


表 1. 1 3 オキシダント（昼間）測定結果

地点	年月		平成 2 0 年									平成 2 1 年			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
項目															
北山配水地	測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
	測定時間	(時間)	440	465	450	465	465	450	465	450	465	465	420	465	
	月平均値	(ppm)	0.051	0.053	0.042	0.040	0.032	0.033	0.031	0.024	0.021	0.023	0.027	0.028	
	1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	(日)	16	23	15	16	9	12	6	0	0	0	0	0	
		(時間)	127	176	93	92	34	57	21	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数	(日)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(時間)	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	(ppm)	0.212	0.109	0.103	0.114	0.119	0.115	0.081	0.057	0.048	0.044	0.046	0.047	
日最高1時間値の月平均値	(ppm)	0.070	0.074	0.063	0.068	0.054	0.053	0.049	0.035	0.032	0.032	0.035	0.037		
富貴小学校	測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
	測定時間	(時間)	444	461	441	465	465	450	465	450	465	465	420	465	
	月平均値	(ppm)	0.056	0.049	0.037	0.033	0.026	0.026	0.023	0.019	0.017	0.016	0.022	0.021	
	1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数	(日)	22	20	14	12	4	2	2	0	0	0	0	0	
		(時間)	150	136	51	41	15	7	2	0	0	0	0	0	
	1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数	(日)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(時間)	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1時間値の最高値	(ppm)	0.134	0.100	0.076	0.089	0.086	0.080	0.062	0.049	0.039	0.033	0.039	0.037	
日最高1時間値の月平均値	(ppm)	0.072	0.068	0.055	0.054	0.041	0.040	0.038	0.030	0.027	0.023	0.030	0.029		

北山配水池と富貴小学校の光化学オキシダント濃度の年間（4月から3月まで）の各月平均値等を表しています。

図1.20 曜日別オキシダント濃度

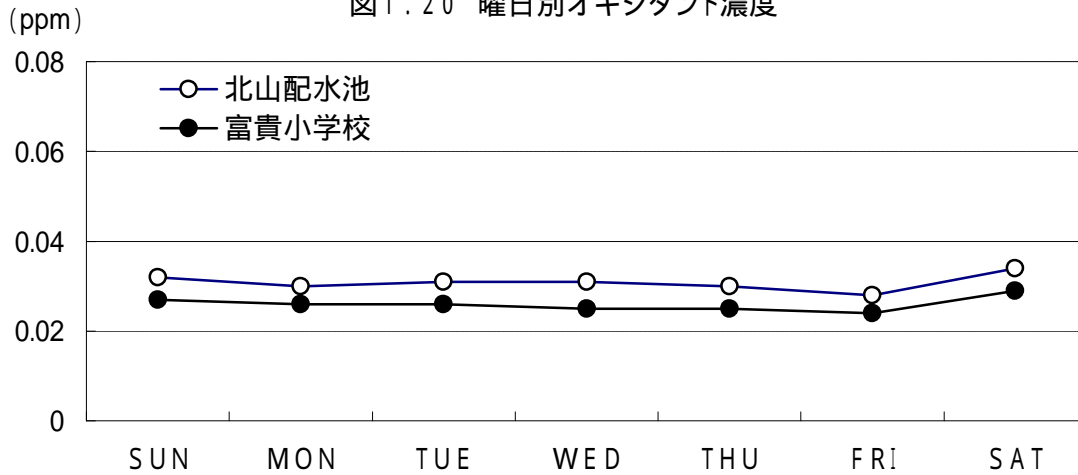


図1.21 時刻別オキシダント濃度

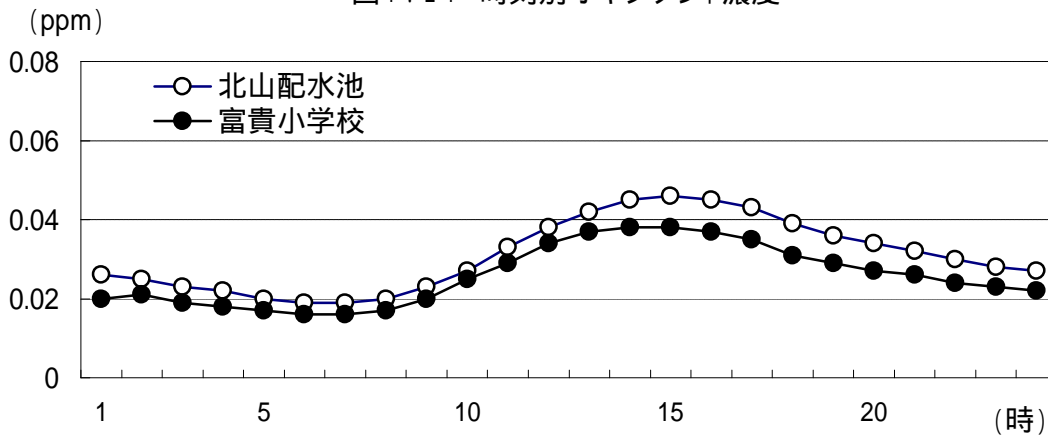
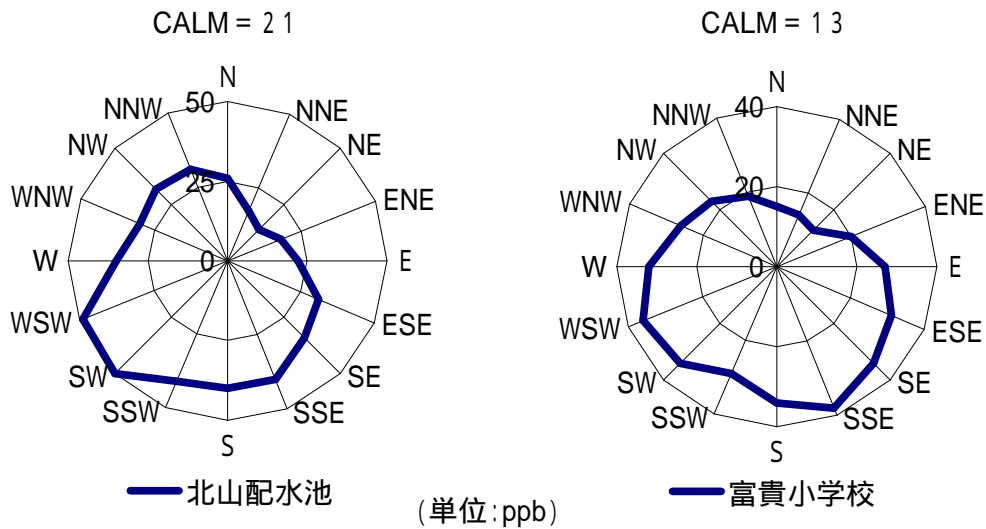


図1.22 風向別オキシダント(昼間)濃度



1.4 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質は、工場等の産業活動により発生するものだけでなく、自動車の運行に伴って発生するものや、自然由来のチリなども影響するため、環境基準（表1.14）を超える年もありますが、その濃度はほぼ横ばいで推移しています。（表1.15、図1.23）平成20年度の年平均値は、北山配水池および富貴小学校においてそれぞれ0.034 mg/m³、0.034 mg/m³でした。

表1.14 浮遊粒子状物質の環境基準

1時間値の1日平均値が0.10 mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下であること。

表1.15 浮遊粒子状物質経年変化

項目 地点 年度	有測定 日効数	測定 時間	年 平均 値	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数 とその割合		1の 時最 間高 値値	日2 平% 均除 値外 の値	環適 境基 準の 否	
				(日)	(時間)	(時間)	(%)				(日)
北山 配水 池	16	364	8740	0.035	1	0.0	0	0.0	0.235	0.075	
	17	358	8637	0.037	1	0.0	0	0.0	0.221	0.077	
	18	362	8699	0.038	7	0.1	1	0.3	0.365	0.082	
	19	351	8509	0.037	10	0.1	4	1.1	0.294	0.085	
	20	339	8225	0.034	2	0.0	0	0.0	0.243	0.066	
富貴 小学 校	16	352	8464	0.040	0	0.0	0	0.0	0.193	0.072	
	17	362	8726	0.041	1	0.0	0	0.0	0.324	0.082	
	18	359	8635	0.037	7	0.1	1	0.3	0.374	0.072	
	19	366	8780	0.037	15	0.2	2	0.5	0.389	0.079	
	20	365	8759	0.034	0	0.0	0	0.0	0.128	0.067	

北山配水池と富貴小学校の浮遊粒子状物質濃度の平成16年度から平成20年度までの年平均値等を表しています。

図1.23 浮遊粒子状物質経年変化

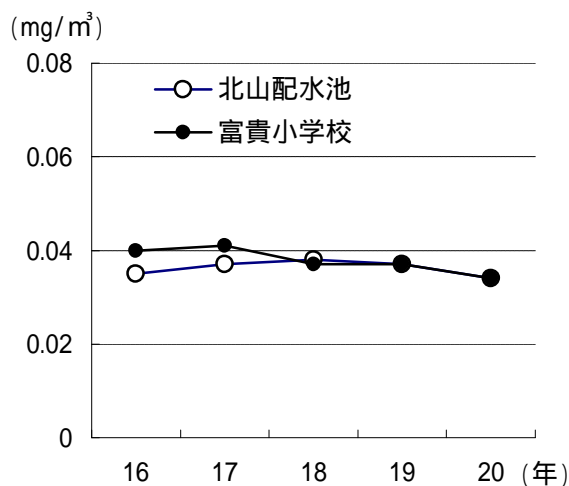


図1.24 浮遊粒子状物質経月変化

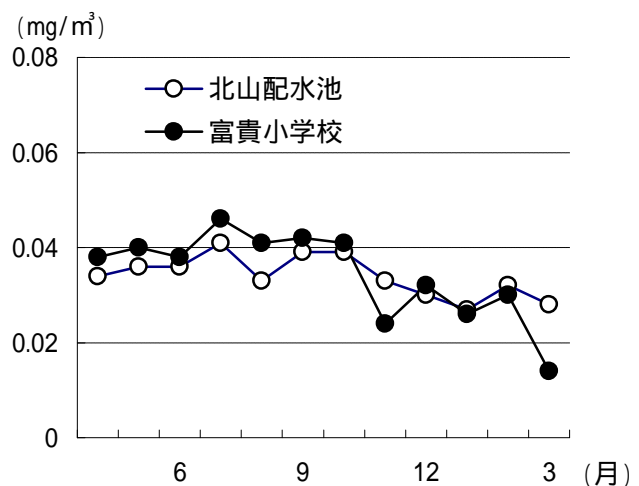


表 1 . 1 6 浮遊粒子状物質測定結果

地点	年月 項目		平成 2 0 年									平成 2 1 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水地	有効測定日数	(日)	29	31	10	30	31	30	31	26	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	705	742	270	727	743	719	744	676	742	742	672	743
	月平均値	(mg/m ³)	0.034	0.036	0.036	0.041	0.033	0.039	0.039	0.033	0.030	0.027	0.032	0.028
	1時間値の最高値	(mg/m ³)	0.243	0.106	0.139	0.105	0.080	0.194	0.107	0.236	0.119	0.106	0.106	0.104
	日平均値の最高値	(mg/m ³)	0.068	0.071	0.051	0.073	0.055	0.077	0.070	0.077	0.069	0.066	0.066	0.066
	1時間値が0.20mg/m ³ を越えた時間数	(時間)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	日平均値が0.10mg/m ³ を越えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富貴小学校	有効測定日数	(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
	測定時間	(時間)	720	743	720	744	744	720	744	720	744	744	672	744
	月平均値	(mg/m ³)	0.038	0.040	0.038	0.046	0.041	0.042	0.041	0.024	0.032	0.026	0.030	0.014
	1時間値の最高値	(mg/m ³)	0.105	0.109	0.128	0.122	0.090	0.090	0.100	0.105	0.110	0.128	0.081	0.089
	日平均値の最高値	(mg/m ³)	0.073	0.070	0.075	0.072	0.065	0.067	0.074	0.067	0.072	0.054	0.056	0.057
	1時間値が0.20mg/m ³ を越えた時間数	(時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日平均値が0.10mg/m ³ を越えた日数	(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

北山配水池と富貴小学校の浮遊粒子状物質濃度の年間（4月から3月まで）の各月平均値等を表しています。

图1.25 曜日別浮遊粒子状物質濃度

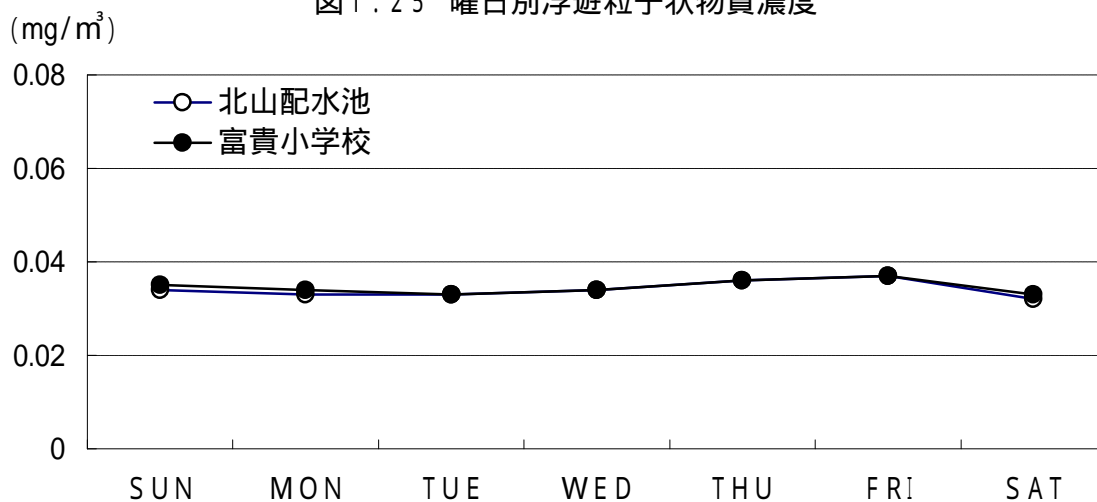


图1.26 時刻別浮遊粒子状物質濃度

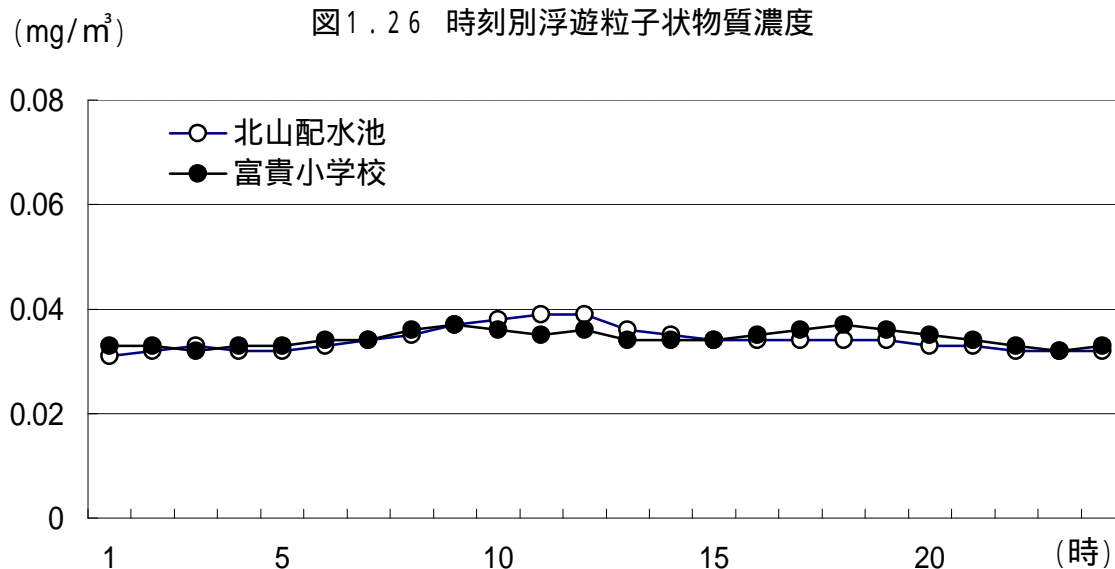
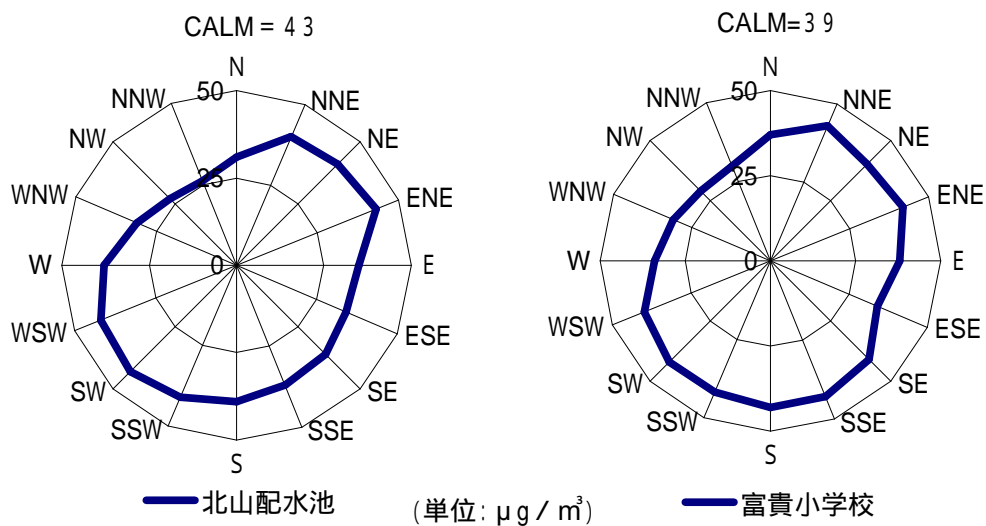


图1.27 風向別浮遊粒子状物質濃度



1.5 降下ばいじん

降下ばいじんの測定値は測定場所ごとに気象等の影響を受けるため基準値は設けられていません。しかし、一定地域の降下物の割合を知ることができ、平均的な汚染の目安を得ることができることから、降下ばいじん量について町内3地点において測定を行いました。近年は、その値はほぼ横ばいで推移しています。（表1.17、図1.28）

表1.17 降下ばいじん経年変化

地点 \ 年度	16	17	18	19	20
緑丘小学校	3.8	3.1	3.5	3.2	3.1
武豊小学校	3.1	2.5	2.7	2.7	2.7
富貴小学校	3.4	2.5	2.8	2.6	2.5

緑丘小学校を始め3地点において、降下ばいじん量を測定しています。平成16年度から平成20年度までの年平均値を表しています。

表1.18 降下ばいじん測定結果

年月 \ 地点		緑丘小学校	武豊小学校	富貴小学校
平成20年	4	3.3	3.1	3.0
	5	4.0	3.6	4.2
	6	2.6	2.4	2.5
	7	1.9	1.6	1.4
	8	2.4	1.8	1.7
	9	3.3	2.8	2.8
	10	3.0	2.7	2.1
	11	3.2	3.9	1.4
	12	3.5	1.7	1.8
平成21年	1	3.0	2.1	2.0
	2	3.9	3.3	3.0
	3	3.6	3.2	3.6

（単位：t / (km²・月)）

緑丘小学校始め町内3地点における降下ばいじんの平成20年度の4月から3月までの測定値を表しています。

図1.28 降下ばいじん経年変化

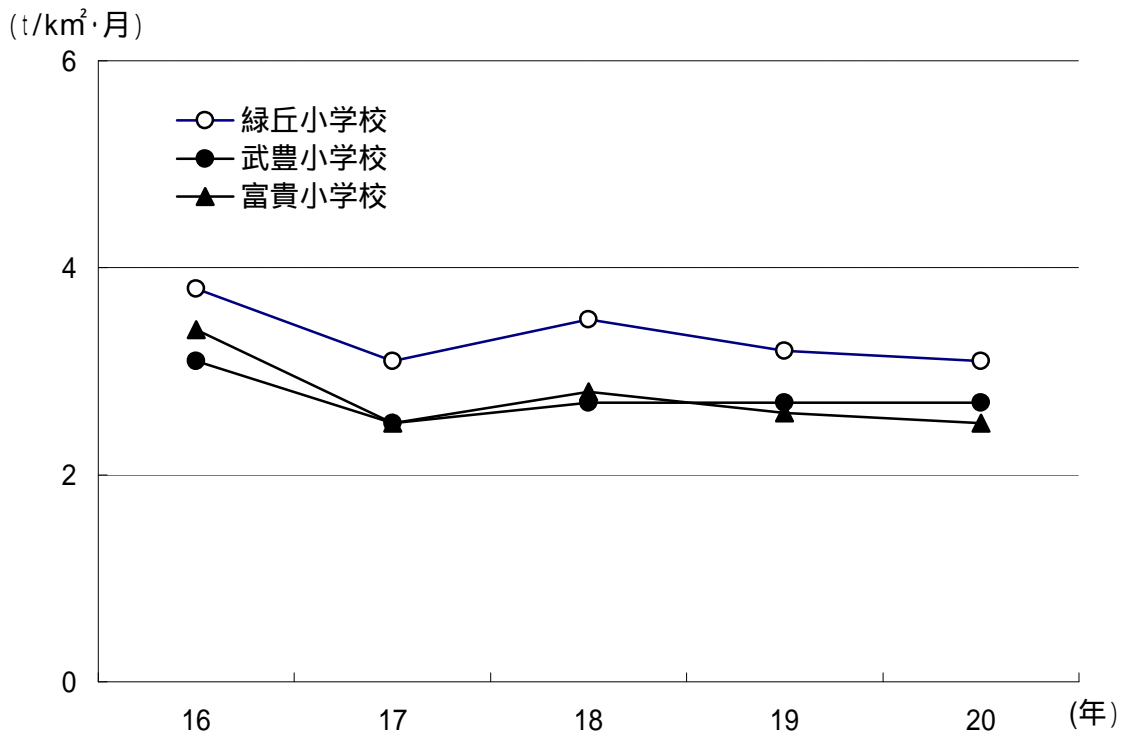
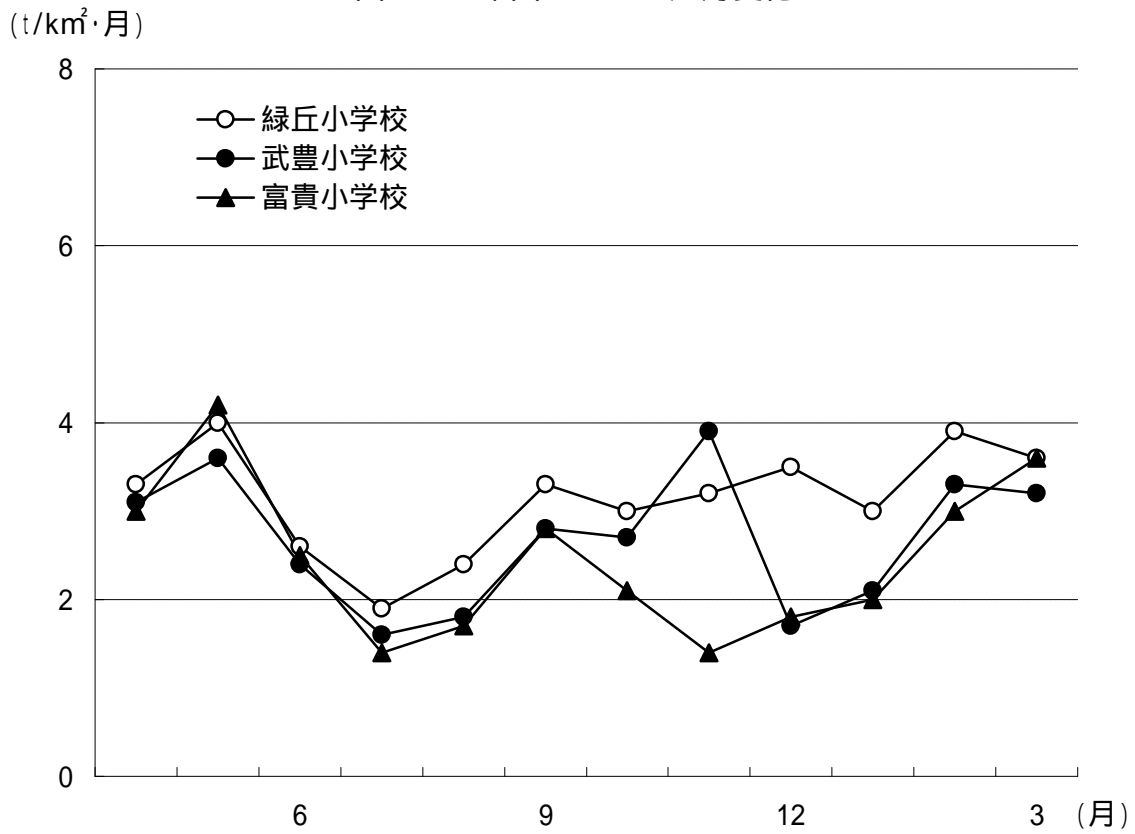


図1.29 降下ばいじん経月変化



1.6 気象

図1.30 風配図(年間)

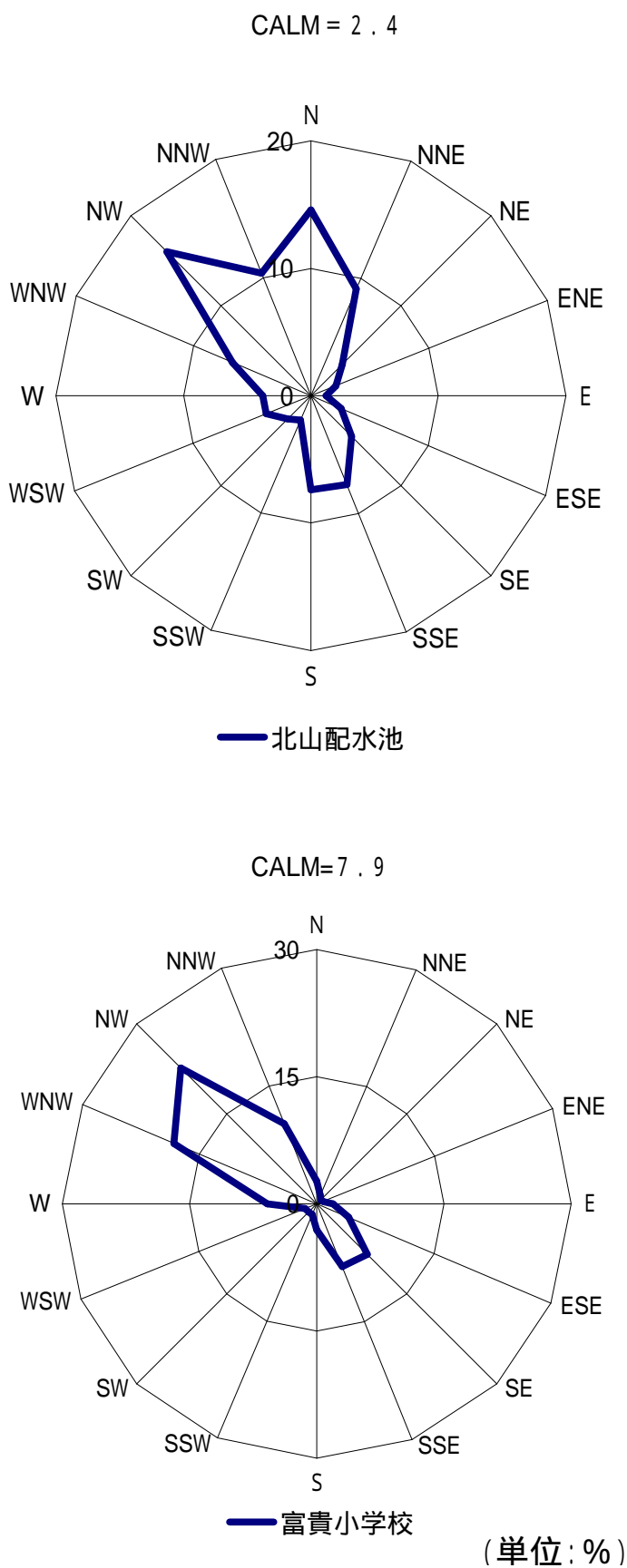


表 1. 1 9 気象観測結果

地点	年月 項目		平成 2 0 年									平成 2 1 年		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
北山配水地	風向	最多風向	NW	SSE	S	SSE	S	NW	N	N	NW	NW	NW	N
		割合 (%)	20.6	14.2	16.8	21.4	16.0	13.6	18.4	24.9	24.6	23.7	26.9	21.6
	風速 (m/sec)	月平均値	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.7	1.7	1.7	1.8	2.0	2.1	2.3
		1時間値の最高値	6.7	6.7	5.4	6.3	5.7	4.6	5.9	5.3	5.6	7.9	6.1	8.3
		1時間値の最低値	0.1	0	0	0.1	0.2	0	0	0.1	0.1	0.2	0.2	0
		日平均値の最高値	3.9	3.6	3.7	2.8	4.0	3.0	3.3	3.3	3.2	4.4	4.3	3.8
		日平均値の最低値	1.5	1.2	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2
富貴小学校	風向	最多風向	WNW	SE	SE	SSE	SSE	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW
		割合 (%)	25.8	16.3	18.8	26.5	17.5	17.6	25.4	32.4	35.8	35.1	35.7	34.5
	風速 (m/sec)	月平均値	2.6	2.3	2.1	2.1	2.2	1.8	1.7	1.9	1.9	2.3	2.5	2.6
		1時間値の最高値	8.6	7.9	6.9	5.1	6.9	6.0	6.6	6.2	6.5	7.7	8.7	9.2
		1時間値の最低値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		日平均値の最高値	5.2	4.7	4.8	3.4	5.0	3.1	3.6	4.4	4.5	5.4	6.2	5.5
		日平均値の最低値	1.3	1.1	0.9	1.1	1.1	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9

北山配水池と富貴小学校の風向および風速の年間（4月から3月まで）の最多風向や各月平均値等を表しています。

大気関係用語

1 硫黄酸化物 (SO_x)

重油など硫黄分を含む燃料が燃えて生じた一酸化硫黄、二酸化硫黄などの総称です。無色の刺激性の強い気体で粘膜や呼吸器を刺激し、慢性気管支炎などの呼吸器系疾患の原因となります。

2 一酸化炭素 (CO)

酸素が不足の状態では燃料が燃焼する際必ず発生するもので、血液中のヘモグロビンと結合して酸素の補給を阻害し、ひどい時には窒息にまで至ります。

3 オキシダント：酸化性物質 (OX)

大気中のオゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他ヨウ化カリウム又は臭化カリウムと反応して、ヨウ素又は臭素を遊離させる酸化性物質をいい、光化学スモッグは、主としてこのオキシダントに起因するといわれています。

オキシダントは、0.15 ppmで目に刺激を訴える人が現われ、0.25 ppmで明らかに目やのどに刺激を感じます。

4 光化学スモッグ

大気中に存在する硫黄酸化物、窒素酸化物、炭化水素等のガス状物質が、強い日射を受け光化学反応を起こし、共存する微細粒子を核として凝結することにより生成されたものをいいます。

人体に対しては、目や気管支などの粘膜を刺激し、植物に対しては、葉を枯れさせたり、実がなくなるなどの被害を与えます。

5 降下ばいじん

大気中の粒子状物質のうち、比較的粒子の大きいものが重力や雨の作用によって地上に降下したものをいいます。

降下ばいじん量は、1ヵ月の間に1 km²当たり何トン降下したか (t / km²・月) で表わし、気象条件などの影響を受けます。

6 酸性雨

大気中に排出された硫黄酸化物、窒素酸化物などが、空気中の水分あるいは雨と作用し、雨水が酸性化されたもので、通常 pH = 5.6 より低い場合をいいます。諸外国では、森林や建物への被害が発生しています。

7 ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法において、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)、ポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン (PCDD) 及びコプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナー PCB) のことをダイオキシン類と定義しています。

物の燃焼等の過程で非意図的に生成し、毒性としては、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。

8 窒素酸化物 (NO_x)

主な窒素酸化物は、一酸化窒素 (NO) と二酸化窒素 (NO₂) です。これらは石油、石炭の燃焼に伴って発生し、工場、ビル、自動車などから排出されます。NO₂ は、濃厚な場合は目を刺激し、呼吸器に急性の喘息性の症状を起こすなど有害です。

9 二酸化鉛法

大気中の硫黄酸化物測定法の1つで、二酸化鉛を塗布した綿布を素焼き円筒に巻きつけ百葉箱又は類似の円筒カバーの中に入れ、大気中に一定期間放置しておくことにより、硫黄酸化物が硫酸鉛として固定される現象を利用したものです。

この測定法は、広地域にわたる長期間の汚染測定に適していますが、二酸化鉛の活性度、気象条件などの影響による差異を生ずることが欠点です。単位は、SO₃mg / (日・100cm²PbO₂)です。

10 ばい煙

大気汚染防止法第2条の定義によれば、ばい煙とは、

- (1) 燃料その他の物の燃焼に伴い発生する硫黄酸化物。
- (2) 燃料その他の物の燃焼又は熱源としての電気の使用に伴い発生するばいじん。
- (3) 物の燃焼、合成、分解その他の処理に伴い発生する物質のうち人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質 (有害物質) として、
 - ア カドミウム及びその化合物
 - イ 塩素及び塩化水素
 - ウ 弗素、弗化水素及び弗化珪素
 - エ 鉛及びその化合物
 - オ 窒素酸化物

をいうとされています。

11 ppm

100万分中のいくつであるかを示す分率です。

大気汚染では、1m³の大気中に1cm³の汚染物質が含まれている状態を1ppmで表わします。

12 浮遊粒子状物質 (SPM)

大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が10μm以下のものをいいます。

発生源は、工場、交通機関、家庭等人為的なもののほか、土壌の舞い上がりや火山活動等自然的なものがあります。

13 粉じん

大気汚染防止法第2条の定義によれば、粉じんとは、物の破碎、選別その他の機械的処理又はたい積に伴い発生し、又は飛散する物質のことをいい、法律では、特定粉じんと一般粉じんに分けています。

特定粉じんとは、粉じんのうち、石綿その他の人の健康に係る被害を生ずるおそれがある物質で政令で定めるものをいい、一般粉じんとは、特定粉じん以外の粉じんをいいます。